

STEP 1 組織づくり

まちづくりを相談する【組織づくり】



●まちづくり活動は組織づくりからはじめます。

まちづくりには、住むこと・商売や事業を営むことなど、多方面のことがらについて考慮する必要があり、住民や商店主・地元の企業や土地所有者などがまちづくり組織の構成員として考えられます。

●なぜ組織づくりが必要なのか？

自分たちのまちをいかに【つくり・まもり・そだてる】のかを考え、住み良いまちをつくっていくためには、住民のみなさんと行政などが協力し合っ、お互いに納得しながら構想づくりや合意形成をしていくことが重要です。そのため「まち全体」を広く見渡してまちづくりを考える場が必要なのです。

また、この「まちづくり組織」の中で、様々な活動を通じコミュニケーションを図りながら、まちづくりの機運を盛り上げていきます。

まちづくりは、行政や専門家と協力しながら、住民によって進められていきます。こ

組織づくりの後は何をするのですか？

●まちの問題点を出し合う

まちの問題点を出し合うといってもその方法は色々ですが、『まちを歩く』というようなごく簡単なことからまちづくりをはじめめることもできます。



●専門知識を学ぶ

まちづくりには様々な手法や制度を利用できることがあります。まちづくりを進めるうえで、行政や専門家に任せるだけでなく、住民のみなさんがこういった知識をもってまちづくりを考えていくことも重要です。

